

政策名	5安全な港	責任者	建設部 施設事務所長	連携担当課 (企画調整室)事業担当 (建設部)施設工事担当 (港営部)管財課
基本施策名	08施設の安全性・信頼性の向上			
個別施策名	24海岸保全施設の機能を維持・強化する			
事務事業名	04ポンプ施設・防潮扉等の管理	連絡先	052-661-5282	

### 1 PLAN(目的・概要)

目的	ポンプ施設・防潮扉等を適正に管理し、災害に備え常に異常なく稼働します。	事業期間	昭和26年度～継続
概要	堀川口防潮水門・ポンプ施設、防潮扉等について保守点検を行い、不良箇所を発見した場合は緊急度に応じた補修を実施します。	根拠法令・要綱等	
		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

### 2 DO(実施)

22年度の実施内容 【及び23年度の実施予定】	・22年度は、堀川口防潮水門・ポンプ施設・防潮扉等について、直営による試運転、点検修理及び委託による定期点検、計画的な維持修繕工事を実施しました。 ・23年度についても異常が確認され、または老朽化した設備については、自らまたは外部委託にて補修を行い、防災時に異常なく稼働するように、22年度と同様、実施予定です。								
活動指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
施設の年間試運転の回数	単位	目標	328	321	327	328	278	-	稼働施設(ポンプ、水門、防潮扉(締切状態の扉を除く))の年間総試運転回数を指標とします。 稼働施設数 H19:51、H20:50、H21:49、H22:48(46)、H23:46 22年度は、年度途中で防潮扉2門を締切状態としたため、試運転を行う必要がなくなりました。(試運転は1門につき2回/年実施)
	回	実績	328	321	327	324			
事業費	単位	目標							
		実績							
人員	正規職員	単位	千円	21,165	22,143	15,070	27,898	15,860	
			人	8.78	8.78	8.78	8.78	8.78	
人員	嘱託職員	単位	千円	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業費・人件費の合計	単位	千円	76,254	77,001	75,350	74,463	76,974		
		人	97,419	99,144	90,420	102,361	92,834		

### 3 CHECK(検証)

決算ベース(H22は見込) ← → 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
防災時の施設の故障発生件数	単位	目標	0	0	0	0	0	0	稼働施設の防災時の故障発生件数(年間)を指標とします。
	件	実績	0	0	0	0			
	達成度○/×	○	○	○	○				
	単位	目標							
		実績							
	達成率(%)								
観点	課題の有無	現状の「見える化」							その他特記事項
必要性	組合関与の必要性	有・ <input type="radio"/> 無							・防災機能の確実性を維持するために、今後も適正な管理に努めて行きます。
	目的・水準の妥当性	有・ <input type="radio"/> 無							
有効性	利用者などの対象者ニーズ	有・ <input type="radio"/> 無							・防災時の施設の故障発生は、今後も「ゼロ」を目指します。
	成果の達成度	有・ <input type="radio"/> 無							
効率性	内容の妥当性	有・ <input type="radio"/> 無							・年数が経過し、防災時の信頼性維持のため、故障の早期発見、補修を重視した保守点検の充実が必要となっている中、背反するコスト削減を含めた対応が課題となっています。
	実施主体の妥当性	有・ <input type="radio"/> 無							
	受益者負担の適正性	有・ <input type="radio"/> 無							
	経済性	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無							

### 4 ACTION(取組)

今後の事務事業の方向性	今後の取組の方向性		今後の取組の方向性の判断理由
継続	成果	コスト	現行レベルの保守点検を行うとともに、計画的に維持修繕工事を行うため。
	維持	維持	
今後の取組内容(改善策、スケジュールの建て直し等)			
現行と同水準の保守点検を継続し、適正で効率的な維持管理を図っていきます。			